

第629回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

Knock the door! ～両腕で歩む、前へ～

平成30年4月18日(水)

(株) I B C 岩手放送

第629回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成30年4月18日(水) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 10名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 岩田 圭司 畠山 俊彰

村井 康典 宮 順子

小松 務 澤口 たまみ

龍澤 尚孝 栗田 均

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

眞下 卓也 編成局長

堀米 道太郎 テレビ制作部長

鹿野 真源 テレビ制作部ディレクター

宿輪 智浩 テレビ編成部副部長

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 テレビ番組「Knock the door! ～両腕で歩む、前へ～」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 1時間の番組だったが、事故により両足を失った鈴木さんの素晴らしいキャラクターと前向きな生き方に圧倒され、まったく長く感じなかった。真っ直ぐに視聴者に感動を与えることができた素晴らしい番組だと思う。障がいのあるなしではなくて、若々しく生きている人生の先輩として大変ありがたいお手本になったと思う。
- 鈴木さんが上京して部屋を借りようとしたら、障がい者ということで借りられないという現実直面したことが描かれていた。そしてその時、「今に見ている」という気持ちで頑張ったことも伝えていた。そのことが鈴木さんの原動力になったのだろうと感じた。
- 「たたかなければ、扉は開かない」という言葉は非常に印象的だったし、この言葉を番組タイトルに使っていて、非常に素晴らしいと思った。このような番組を今後も作っていただきたいし、できれば全国放送もしていただきたい。
- 鈴木さんは出会いを引き寄せる力がすごく強い方なんだろうと思う。AIがどんなに進化している世の中でも、やはり人でなければ作り出せない世界というものをこの番組では伝えてくれていると思った。
- 5歳の頃からずっと付き合っている方々がいるという姿が見られて涙が出た。チェアスキーなど、雪でも空でも海でも何でも挑戦したすごい人だなと思うと同時に、今回の映像では鈴木さんの表情が大変はっきり見えて臨場感が伝わってきた。カメラがうまかったなと思う。
- スカイダイビング、チェアスキー、パラセーリングは、我々がやりたくてもなかなかできないこと。そういうことができる環境にある背景などについてもう少し解説してくれれば、もっと伝わったのではないかと思う。